



学校便り

<本気・元気・根気>

令和元年5月10日

第3号

あきる野市立西中学校
文責 校長 曾我 有二

◇ 令和元年度 西中学校 学校評価について ◇

本年度の本校の学校評価計画を以下のように設定させていただきました。学校評価とは、1年間本校が、あきる野市教育委員会の施策を受けて、特に力を入れて取り組む活動を教育委員会に報告し保護者の方々や学校関係者評価委員の方々からこの取り組みの評価をいただくものです。保護者の皆様には、各項目について年末に学校アンケートという形でご意見を伺う予定です。本年度も宜しくお願いします。

重点的に進める目標	学校評価計画			
	昨年度設定した改善策の概要	評価項目	評価方法	
学力向上に資する授業改善	「表現力を身につけた感」を与える授業を継続して改善するとともに、新学習指導要領に適用する「ねらい」「見通し」「振り返り」を明示していく。 3点セットについて、昨年度比の成果を評価するとともに、はっきりと明示すること。 「自学自習」が厳しい生徒を抽出して指導する。	取組目標 ①	・授業のUD化にもなる「ねらい」「見通し」「振り返り」を明示する。 ・主体的・対話的で深い学びの実践を行い、分かる授業を行う。 ・「家庭学習の手引き」を配付指導し、家庭学習の定着を図る。	・左記の内容の実施状況を、実施率で自己評価する。
		成果目標	・生徒による授業アンケートで「分かる授業」の肯定的意見を80%にする。 ・保護者アンケートで「家庭学習が定着している」を70%以上を目指す。	・左記の内容の実施状況を、各アンケートの肯定的回答率で自己評価する。
	取組目標 ②	・年間を通して、朝学習を実施する。 ・長期休業中に、補習学習を実施する。 ・各検定3級以上取得に、取り組ませる。	・左記の内容の実施状況を、実施率で自己評価する。	
	成果目標	・都(2年)全国(3年)の学力調査で、昨年度より、3ポイント向上する。 ・3年生の各検定の3級以上取得者50%を目指す。	・左記の実施内容を各調査の正答率で自己評価する。 ・各検定結果で自己評価する。	
いじめ不登校ゼロへの挑戦	いじめ防止三原則を根本に自治活動(生徒会)等、生徒の積極的な活動を継続して取り組む。 組織的な対応の継続。	取組目標 ①	・毎月「いじめについて考える日」を実施。 ・学期ごとのアンケートと面接の実施。 ・いじめをテーマとした道徳授業を年3回以上実施。	・左記の内容の実施状況を、実施率で自己評価する。
		成果目標	・いじめによる不登校生徒ゼロの達成。	・左記の内容を調査し、目標値で評価する。
	取組目標 ②	・連続3日欠席が続く生徒の家庭訪問の実施。いじめ防止対策委員会を中心に、生徒観察、情報の共有をし、速やかで丁寧な継続した組織的対応を実施する。	・左記の内容の実施状況を、実施率で自己評価する。	
	成果目標	・不登校の出現率を、1%以下を目指す。	・左記の内容を調査し、目標値で評価する。	

健康の増進・体力の向上	オリンピックイヤーに、他人事という意識を改善する。	評価項目①	取組目標 ・全教科で「4つのテーマ」と「4つのアクション」を組み合わせた多様な取組を展開し、5つの資質を育成する。 成果目標 ・オリンピック・パラリンピックに何らかの形で貢献したいという生徒を80%以上にする。	・左記の内容の実施状況を、実施率で自己評価する。 ・左記の内容を調査し、目標値で評価する。	
		評価項目②	取組目標 ・保健体育の授業に留まらず本校の学校生活全般で、生徒が自主的に体力を向上する取り組みを実践する。 成果目標 ・「自ら体力が身に付けられた」と感じる生徒を80%以上にする。 ・「体力向上が役だった」と感じる生徒を85%以上にする。	・左記の内容の実施状況を、実施率で自己評価する。 ・左記の内容を調査し、目標値で評価する。	
	特別支援教育の推進	生徒一人一人の「居場所」をつくること浸透する実践計画の策定。 全教員に授業のUD化「ねらい」「見通し」「振り返り」見える化を徹底する。	評価項目①	取組目標 ・全ての教育活動において、特別支援教育（全員支援教育）の視点に立って取り組む。 ・教室環境、授業のUD化を実践する。 成果目標 ・特別支援教育を活かした教室環境・授業実践（「ねらい」「見返り」「振り返り」）の実践率を90%以上にする。	・左記の内容の実施状況を、実施率で自己評価する。 ・左記の内容を調査し、目標値で評価する。
			評価項目②	取組目標 ・インクルーシブ教育を実践する。 ・あきる野学園との交流を行う。 ・SCも含め、教育相談を充実し、生徒が「毎日登校したい」学校づくりを進める。 成果目標 ・「学校へ毎日行きたい」「行かせたい」という生徒と保護者の肯定的回答率を90%以上を目指す。 ・生徒の「障がい」の理解を90%以上にする。	・左記の内容の実施状況を、実施率で自己評価する。 ・左記の内容を調査し、目標値で評価する。
豊かな人間性を育む教育の推進	生徒会活動、委員会活動のさらなる活性化。 生徒が自主的に取り組めたと感じる指導の実践。	評価項目①	取組目標 ・生徒会目標を、各学年、学級委員会活動に浸透させると共に、規律を高める指導を実施する。 ・あいさつ運動を実施する。 成果目標 ・「自ら決まりを守ることができている」「あいさつがしっかりできている」と生徒の肯定的な回答率が100%を目指す。	・左記の内容の実施状況を、実施率で自己評価する。 ・左記の内容を調査し、目標値で評価する。	
		評価項目②	取組目標 ・教育活動全般や特に道徳や総合的な学習の時間で、「思いやる心」を育てる。 成果目標 ・「思いやる心」「互いに認め合う気持ち」を意識し学校生活を送っているとアンケートで答える生徒を95%以上にする。	・左記の内容の実施状況を、実施率で自己評価する。 ・左記の内容を調査し、目標値で評価する。	
	昨年度の項目にはないため、改善策の概要は、無し。	評価項目①	取組目標 ・全教員に授業のUD化、あきる野市授業スタンダードを意識させ、研究（公開）授業を年一回以上行わせる。 成果目標 ・生徒アンケートで「授業がわかる」や「授業での活動の場がある」という肯定的回答率を平均で80%以上を目指す。	・左記の内容の実施状況を、実施率で自己評価する。 ・左記の内容を調査し、目標値で評価する。	

	評価項目②	取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・OJT 体制を確立し、若手教員の育成と全教職員の資質・能力の向上を目指す。 ・サービス事故防止研修を行い、サービス事故防止を徹底していく。 	・左記の内容の実施状況を、実施率で自己評価する。
		成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価で「研修に対する取り組み」の肯定的意見を80%以上とする。 ・サービス事故の発生をゼロにする。 	・左記の内容を調査し、目標値で評価する。

5月12日は、「母の日」です。生徒の皆さんは、どのように日頃の感謝を表しますか。
平成28年の4月25日の読売新聞の「編集手帳」の記事を紹介します。「母の日」の参考になれば幸いです。(6月16日は、「父の日」です。)

今は春に入社した若者が少し職場に慣れてきた頃だろうか。社会に出て、親への感謝の気持ちを強くする人は多い。◆米国バスケットボール界の大スター、ケビン・デュラント選手も2014年に最優秀選手(MVP)に選ばれた時、スピーチを母への思いで締めくくった。貧しかった母が、ベットの無い部屋で、幼い彼と兄を抱きしめてくれた思い出を語ったのだ◆「服を買ってくれ、食べさせてくれた。自分が食べられない時も、子供の食事だけは気にかけて空腹のままだった。自分を犠牲にして育ててくれたあなたこそ、真の MVP だ。」2メートルを超える大男の目が潤んでいた。◆今日4月25日は「ファーストペイデー」(初任給の日)と呼ばれている。はじめて給料を貰う新入社員が多い日だからだ。初月給で親にプレゼントを買う人もいるだろう。親には、これほど嬉しい物はない。ただ、たとえ、「ありがとう」の一言だけであっても、親は喜ぶはずだ◆感謝を伝えたい人がいる。お礼を言ってくれる人がいる。そんな幸せを噛みしめられる一日になるとよい。いつでも親子は、お互いがそれぞれの MVP なのだから。

いかがでしょうか。生徒の皆さん、是非感謝の言葉を一言でもいいですから保護者の方へ言ってください。